

広報

かわにし

(毎月10日発行)

人口の動き

— 4月1日現在 —		
男	4,791	(-21)
女	4,892	(-29)
計	9,683	(-50)
世帯数	2,321	(-12)

前月比較

昭和60年 4/10 No.320

948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (☎0257-68-3111)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社



4月の休日救急医

14日	第二藤巻	医院	(上野)
21日	山口	医院	(袋町)
28日	中条	病院	(中条)
29日	中富田	医院	(神明町)

5月上旬の予定

3日	大島	医院	(川原町)
5日	山口	医院	(下条)
6日	至誠堂	医院	(西浦町)
12日	千手	診療所	

「緑の羽根」募金運動が始まりました。期間は四月いっぱいです

一日には、「上野緑の少年団」の子供たち(上野小五、六年生五十七人)が、小雪の舞う町内各地の街頭で、午前九時から二時間ほど募金を呼びかけました。

街頭のほかに職場回りも一部で実施しました。この日ご協力をいただいたお金は六万一千五百三十七円でした。(二日と三日には中学生が街頭募金に立ちました)

こうして集められたお金は、県国土緑化推進委員会を通して、県内各地の学校や生活環境の緑化などに役立てられます。

今年も、世界全体から森林の重要性を見つめ直してもらう「国際森林年」にも当たります。みんなが緑を育てましょう。

60年度の町づくり

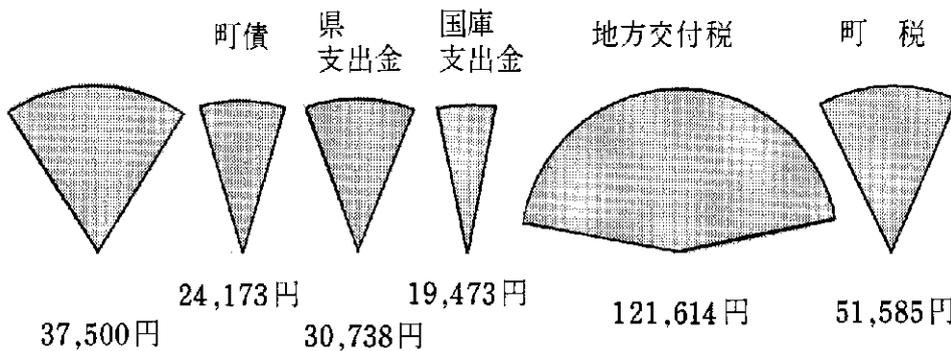
一般会計は
27億 7,500万円

新年度の町予算が決まりました。一般会計が二十七億七千五百万円、七つの特別会計が十三億六千二十六万一千円、合わせて四十一億三千五百二十六万一千円の規模になります。(水道企業は含めていません)
予算は、厳しい財政事情の中で「節減」を基本にして編成に当たりましたが、活力のある町づくりのため、「ふれあいパックス事業」や「いちよりの里」の構想など、新しい事業も組み込んでいます。

一般会計

※人口 9,734人として

町民1人当たりの歳入 285,083円

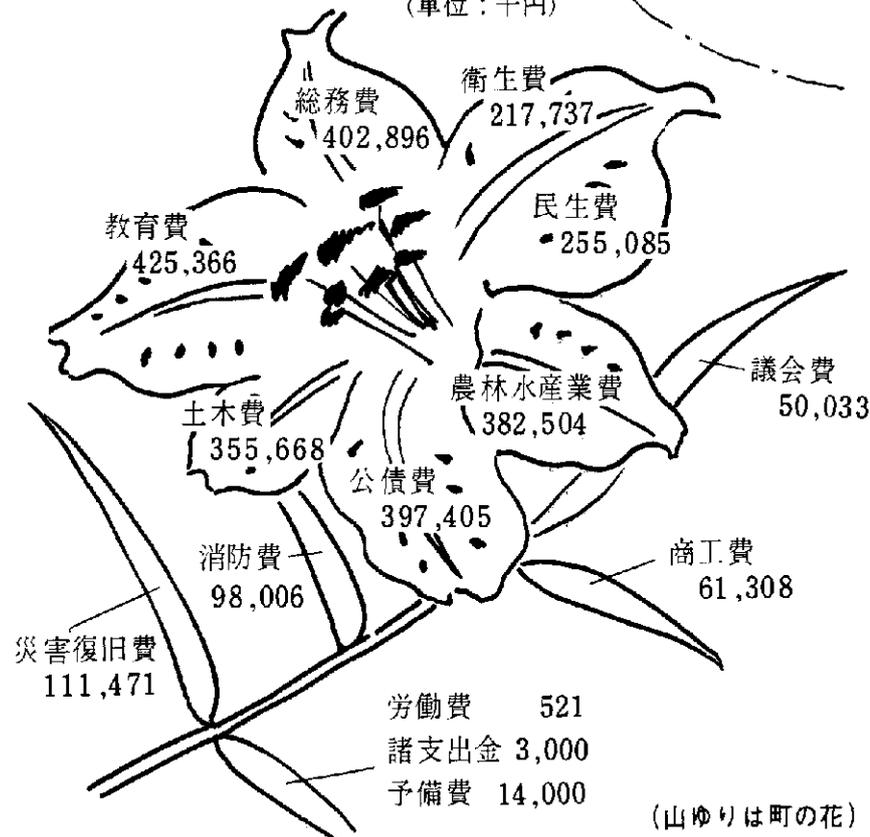


歳出 2,775,000千円

(単位：千円)

町税の内訳

町民税	17,976円
固定資産税	27,899円
その他	5,710円



(山ゆりは町の花)

「ふれあいパックス事業」、
「いちよりの里」構想…と

メニューはいっぱい

— 新しい事業 —

(主なもの) 単位：千円

- 特産物振興対策事業(一村一品運動) 1,150
- 生産組織農機具更新費補助事業 3,000
- ふれあいパックス事業 825
- 新農村地域定住促進対策事業 35,104
- 観光整備事業 2,000
- 上野小学校木造校舎改築事業 177,328
- 中子運動公園整備 2,122

生活環境の整備

向上に努めます



施政方針を述べる
南雲町長

* 施政方針の概要 *

地方債で補てんされることや、地方税の伸びなどが加わり、地方財政は久しぶりに好転しているとされています。

しかし、この地方財政計画の傾向を川西町の予算編成指標としてそのまま適用することは危険です。それは国全体の景気回復と、新潟県経済や川西町経済の回復のテンポを判断しなければならぬからです。

こうした情勢の中で、川西町の五十八年度一般会計決算が過

去最高の黒字となったことは、臨時行財政調査会を設置し、行財政各般にわたり体質を見直し、改善への努力を重ねたことによるものといえます。しかし、町の財政構造は県内のワーストクラスにあることを忘れてはなりません。

新年度は、住みよい町づくりのために、かねて約束していた固定資産税の税率引き下げの初年度として、〇・一％を実施したい考えです。歳出面では、上

野小学校老朽校舎の改築を始め、新農村定住促進事業、十日町大橋（仮称）の建設促進などを重点施策として挙げました。

引き続き行各般にわたる見直しを実施し、職員定数・給与管理の適正化、経常経費の節減投資的経費の減少を最小限に止めることなどを図りながら、生活環境の整備・向上に努めていきます。

国の財政も地方の財政も、大幅な収支不均衡の状況が続き、極めて厳しい事態となつています。

このため、国では臨調答申を尊重しながら、行政改革を進めているところですが、

国の六十年年度予算編成は、「増税なき財政再建」の基本方針のもとに、前年度当初予算に

対し、経常部門一〇％、投資部門五％削減という基準を設定したほか、高率国庫補助金の一率一〇％削減を打ち出すなどの措置の中で進められました。

市町村財政の全体像を描き、地方自治体の財政運営の指標となる六十年年度地方財政計画では、高率国庫補助金の一律削減による地方負担増は、交付税と建設

一 般 会 計

歳入では……

固定資産税の 税率を引き下げる

町税は、固定資産税で評価替えや原發送電線分の増収はありますが、税率の引き下げによる減収がありますので、全体の伸び率は一けたにとどまる見込みです。

地方交付税は、財源対策債の廃止などにより、全国枠では一〇・九％の伸びですが、川西町は伸び率六・九％と苦しい計上になりました。

国・県支出金は、補助率の引き下げや事業の見直しなどによって大幅に減額されました。

町債は、財政健全化のための抑制方針などにより、歳入に占める比率が一〇％を割り込んでいます。

歳出では……

議場を改築

総務費

* 役場の四階を改築して、機能的な議場・委員会室を実現したい考えです。

* 職員の定数問題や人件費率は、相当期間を通じて削減・合理化を進め、成果を求めるものと考えます。

* 六十一年度は町村合併二十周年に当たりますので、記念行事の企画・準備のための予算を計上しました。

施政方針

特産物栽培に

お年寄りの力を期待

民生費

- * 社会福祉協議会に職員を出向かせ、経費の節減を図るほか、総合センターの管理を委託したい考えです。
- * 保育所は、幼児の人口減少に伴う措置を考えなければなりません。
- * 老人対策としては、生きがいを求めているため、ゲートボールなどの軽スポーツを奨励するとともに、特産物栽培等にはお年寄りの労働力を



ゲートボールは腰が伸びます

期待しています。

検診事業を充実

衛生費

- * 川西町は、成人病のり病率が高いことを指摘されています。引き続き各種予防・検診事業を充実させます。
- * 霧谷ゴミ埋立地の用地を買取り、衛生施設組合に貸す考えです。
- * 母子健康センターは、利用が落ちこんでいることから、施設の継続についてあらためて研究してみます。

「いちちょうの里」

実現に向けて

農林水産業費

- * 過疎現象の著しい仙田地区の振興のため、新たに新農村地域定住事業を導入し、強力で進めていきます。住民が地域に定住するためには、新しい収入の道を開拓しなければなりません。各集落の自立精神を促すためには、独創的な対応が必要と考えます。
- * 農業生産組織の強化・育成のため、機械更新に対し助成を

する考えです。

- * 緑の村おこし事業として、長期的には杉の造林、中期的にはいちちょうの集団栽培、短期的には漬け物の増産とやまゆりの栽培を普及させたいと考えています。

- * ふれあいパック事業を実施して、郷土出身の都市在住の方から町との交流を深めていただくことよって、地域特産物の販売ルートを確認できれば幸いです。

- * 水田利用再編対策は、転作の定着化を図るため、集団化・合理化対策を進めます。
- * 農村総合整備モデル事業は、集落下水道施設とフラッシュ施設とを重点的に行います。
- * 杉の造林新植は三十ヘクタールとし、今までに造林したところの育林・管理にも意を用います。

- * 産業育成資金枠の拡大を行い、金融対策を充実させます。
- * 商店街の振興対策として、東善寺地内に駐車場の造成を計画しました。

松葉荘周辺の

観光開発を探る

商工費

- * 企業誘致は、話し合いをしている企業については六十年中に見通しをつけたと考えています。また、すでに誘致した企業の円滑な運営のためには、行政の立場として許される範囲の協力は惜しんではならないと考えます。

- * 高速交通時代を迎え、町としても観光開発の必要があります。松葉荘周辺の開発をコンサルタントに委託し、手がかりを探る考えです。



観光開発は松葉荘周辺から

- 動の上からも、住民の生活の上からも必要不可欠の事業です。
- * 新潟県の要望した公共事業は、そのほとんどが予算づけの見込みです。しかし、県単事業は大幅削減が避けられない実情にあります。
- * 町道の改良は十一路線、舗装も十一路線、消雪パイプは一路線計画しました。
- * 信濃川新橋架橋と取付道路は、重要事業として対処します。
- * 道路除雪は、住民の要望にこたえるよう努力するとともに、住民負担の公平化も推進しなければならぬ時期です。
- * 克雪住宅に対する融資は、希望を満たすよう措置しました。川の向こうは十日町

信濃川新橋を

町発展の懸け橋に

土木費

- * 町内を縦横断する国・県道の整備促進と無雪化は、産業活



上野小改築に着手

教育費

*上野小学校危険校舎部分を、六十・六十一年度にわたって改築します。

*高倉小学校は、現状では六十二年三月に児童数が零となつてしましますので、閉校、あ

るいは分校という見極めをつけないければなりません。

*青少年の健全育成は、家庭・学校・地域住民が一体となり進める必要があります。

*生涯教育を踏まえて、各種学級・講座を引き続き開設し、人づくりを推進します。

*中子運動場の完成を機に、いっそうのスポーツ振興を図ります。

上野小学校の改築部分



八十九件分を予算化

災害復旧費

*農地農業用施設は、過年災三十四件、予測される現年災二十三件で六千七十七万五千円を計上しました。

*公共土木施設では、過年災十五件、現年災七件分の四千八百

十六万三千円を予算化しました。

ポンプ車を更新

消防費

*川西分遣所備え付けポンプ車の更新、防火水槽造築などを予定しています。

特別会計

国民健康保険

五二三、五四一千元

保険料値上げのピンチ

国は、高齢化社会への対応策として、老人保健法の制定や健康保険法の一部改正による被用者保険本人の、割負担導入などを行いました。

これら一連の制度改正で、国庫補助率の削減が行われ、国保

財政はたいへん厳しくなっています。

こうした状況の中で、町の国保会計は、被保険者数の減少傾向と医療費の増加傾向とが加わり、財政運営は困難性が増しています。

予算額は、前年度比七・二%の増です。国庫支出金の激減のために保険料の値上げをしなければならぬ状態ですが、財政調整基金の取りくずしによって対処したい考えです。

国保診療所

八八、一六八千元

五百万円を国保会計から

小規模施設の経営のところで

は、直接影響を被る薬価基準の引き下げが毎年のように行われています。

このようなことから、診療報酬の落ち込みは必至で、歳入不足見込み分として五百万円を国保会計から繰り入れました。

へき地出張診療所

一一、四六四千元

今年も苦しい予算編成

仙田へき地出張診療所は、設立当初から不採算企業としての性格を持っていました。

それに加えて、近年の医療情勢から、本年も苦しい予算編成となりました。千百万円を一般会計から繰り入れます。

この出張診療所は、へき地医療確保のとりでとして、存続を図っていかねければならないと考えます。

老人保健

四九一、〇〇五千元

お年寄りの

医療費を扱う会計

老人保健会計は、七十歳以上の方々と六十五歳から六十九歳までの寝たきりの方々を対象とし、その医療費全額を見込んで予算を組みます。

医療機関への医療費の支払いが目的の会計ですが、その方法が精算方式となっているため、財政運営上からも問題が多い状

態にあります。

地域休養施設

一〇二、四三九千元

設置目的は

一応クリアー

地方公共団体としては異質の事業ですが、皆さんから大いに利用いただき、その設置目的を十分に果たしているところですから、予算編成の骨子として、営業成績を前年度水準の維持に努めたいとしました。

松葉荘周辺を活用し、多面的な施設利用を進めたいと考えています。

(施政方針次ページへ)

施政方針

農業共済事業

一〇一、八四四千元

将来展望の上で編成

政府は、共済制度の見直しを六十年実施と決定しました。このことから、行財政改革路線に基づいての歳出削減の影響が、農業共済事業では六十一年度から出てきます。

今までは、政府の手厚い保護育成の傘の下で運営されてきましたが、これからは各共済組合に努力が求められるものと感じます。

予算は、今までの路線に沿い大豆共済もあります(野口で)



ながら、将来展望もした上で編成しました。防除機械購入補助も継続します。

簡易水道事業

四一、八〇〇千元

繰り入れは二千二百万円

橋、木落、室島、それに白倉の簡易水道を維持管理するのがこの会計です。一般会計から前年度と同額の二千二百万円を繰り入れます。

町民の皆さんの

英知を結集して……

以上、新年度に対する所信の一端と予算案の概要を述べてきました。

財政構造の改善は緊急の課題ではありますが、多様化する住民の意識や要望にこたえていかなければなりません。うるおい・豊かさ・活力のある町づくりと、町民の健康と幸

せを探求するため、社会資本の充実強化をいっそう促進させなければなりません。

厳しい財政と住民のニーズとの接点を求め、これを解決するために、町民の皆さんの英知を結集しなければなりません。ご理解、ご協力をお願いします。

◆南雲町長

①川西町では建物だけを課税免除している。県の地方課の見解は、敷地についても条例改正をすれば免除できるとしている。
②町としては今のところ特別の対策は実施せず、農業者自らの力で対処してほしいと考えている。

③昨年橋小学校に一台設置した機械導入を進める必要を感じている。
④六十年度は中途採用の予定はない。

⑤越後交通と繰り返し交渉をしていきたい。

町長に対する総括質疑が三月二十六日に行われ、十七議員が質問に立ちました。
各議員の質問と町長の答弁の概略をまとめてみました。

◆上村 広治議員

- ①一村一品運動の取り組みは
- ②新農村地域定住促進対策事業の基本的な考え方は
- ③老人クラブ等の松葉荘利用に便宜を
- ④公共事業入札に対する考え方は
- ⑤国・県道(一、二級除雪町道

含む)に面した家屋密集地の屋根雪処理の方策は

◆南雲町長

①一物の豊かさより心の豊かさが求められている。こうしたふるさとの志向を生かす方向で地域特産物の開発を進めなければならぬ。手づくりハムや薬草栽培の研究を進めたい。

②仙田郷の過疎化を食い止めるため、地域の皆さんと協議してきた。主要計画として安定的就業機会の確保事業が四八%、農業の近代化を目ざす土地基盤整備事業が三一%となった。内容にいつそうの改良を期待した

い。

③老人クラブ無料入浴デーも考えている。月見荘は管理を伊友集落に委託しただけで、今までどおり利用できる。

④町内業者の落札が五十九年度は七割を超えている。自治法の規定にある「最少の経費で最大の効果を上げる」よう努力する以外にない。

⑤町では克雪住宅建設に対し融資制度を設け、克雪対策の重点項目として推進している。道路除雪は来シーズンから住民負担をお願いしたいと考えている。行政と当該道路に面した住民と

◆保坂次夫議員

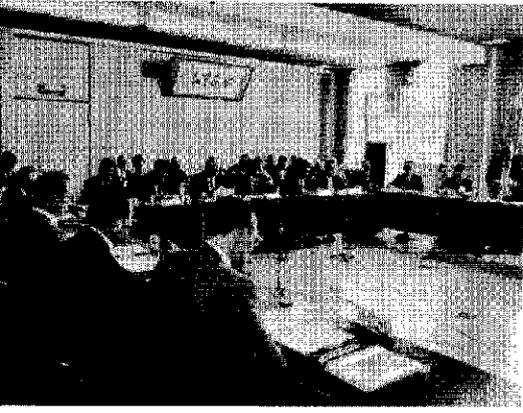
①公共的建物(集落センター等)敷地に対する固定資産税を免除できないか

②育苗施設個所の除雪経費に対して補助を

③校舎屋上用小型除雪機の購入を

④年度途中の職員採用の有無

⑤湯沢―川西の直通バスを朝だけでなくも運行するよう努力を



大ぜいの方が総括質疑を傍聴

◆登坂 茂議員

- ①克雪家屋疲励のため、三階建ての一階非住宅部分を冬期間減免できないか
 - ②豪雪による農道除雪の遅れや災害復旧負担金が過疎に拍車をかけているのではないか
 - ③ふれあいパック事業に関する特産物の作付け計画は
- ◇南 雲 町 長
- ①現行税法上では減額措置はとれない。
 - ②農道の雪割りは引き続き実施する。災害復旧は農地の場合5%の農家負担をお願いしている。地すべり地域内の道水路については、県営で実施の場合は受益者負担がない。農業用施設の場合は高率補助適用のときは3%負担となる。
 - ③都市との交流と特産物の振興を図るためふれあいパック事業

を計画した。川西出身者に限らず会員となっていたいただき、町の味と心をお届けしたい。また、夏には緑と土のにおい、冬には雪を楽しむに思い出いただきたい。

総括質疑

◆若山三郎議員

- ①高倉小学校閉校の際は、この施設を「山村留学」の場を利用して、都会との交流を
 - ②水力発電再開発計画の信濃川工事局回答に基づく対応姿勢は
 - ③行政面から川西ダム水規制の緩和を促進されたい
- ◇南 雲 町 長

①高倉小学校はなんとか存続させたい。しかし、今のままでは二年後には児童数零の日が訪れる。集落の人たちの心情を考え、この事業を表面的に取り上げることは避けたい。

②正式な回答はいただいていない。これまでの対応で、国鉄は町の基本姿勢や住民感情を認識したものと考える。各地区の要

望事項を整理して、将来に禍根を残さないようにする。

- ③川西ダムの年間最大取水量は四百三十九万立方メートル余である。六百二十二ヘクタールにがんがいするものとして認可されている。一日も早く緩和され

るよう運動しなければならぬ。

◆高橋長夫議員

- ①町道委託除雪拡大の成果と今後の方針は
- ◇南 雲 町 長

①地域の方々からは、かなりきめ細かい除雪が行われていると、一応の評価をちょうだいした。キロ当たりの費用としては、昨年が百六十七万七千円、本年は百五十六万八千円である。三万九千円減っているが、降雪量の問題などで単純には比較できない。今後も委託路線の拡大の方向でいっそうの住民サービスを実施していきたい。

◆田中三郎議員

- ①企業誘致との関連で、パートタイマーに退職金共済制度を設ける考えは
- ②水難事故が続く、水防訓練の必要を強く感ずるが、町考の考

えは

- ③文化活動の高揚を
- ◇南 雲 町 長

①現状では対象者が少なく難しい。今後の企業誘致、またそれに伴う労働の形態等を考慮し、必要な場合はただちに対応できるようにしておきたい。

②六十年以降は、建設省十日町出張所管内で会場を持ち回りで実施する計画とのこと。その際はこれに協力したい。

③自主的に活動をしていただきたい。

◆小林寅雄議員

- ①行財政改革の現況と今後の姿勢は
- ②県単事業予算の削減に伴う町

予算への影響

- ③給食施設の統合改善と米飯給食の拡大を
- ◇南 雲 町 長

①川西町は臨時行財政調査会を五十六年に発足させ、その答申の中から急を要するもの、あるいは比較的取り組みやすいものから実施してきた。事務事業の合理化、遊休財産の処分なども積極的に行った。六十年度の予算編成に当たっては、臨調答申の提言に対してあらためて原点に立ち戻って対処してきた。

②川西町は、土木部門では県単事業の割合が比較的高いので、規模の小さい土木工事などがかなりの減額となる。あるいは予定されている県単事業の進捗よく度が悪くなる恐れがある。町予算への影響は、事業量が減少することによって町の負担が減るといふことである。

③共同調理場の建設は六十年に見極めをつけなければならぬ。町内の小・中学校の米飯給食は週三回である。これを増加させるには現在の施設と人員では無理である。共同調理場の建設と並行して研究する。

総括質疑

◆桑原 要雄議員

①霧谷ゴミ埋立地の汚泥埋立問題のその後

②町民が気軽に使用できる自動血圧測定器を設置できないか

③町の出先機関の整理統合の具休案は

◆南 雲 町長

①本年に入って十日町市から公共下水道汚泥処理計画の基本構想が示された。その概要は、①処分施設等が建設されるまでの間(六十四年度目標)脱水をし埋め立てを行う。場所は霧谷をお願いしたい。②十日町市に

埋立地の確保ができないか。などとなっている。町としては、関係者の意見を十分に踏まえた上で対応をしなければならぬというところで、まず直近の室島で三月十七日住民協議を行った。中仙田から下流の集落については、仙田振興会等の席上で話したい。

②町民の健康づくりを推進することは重要なことである。役場の窓口を設置するなど、前向きで検討しなければならぬ。

③橋出張所は職員を引き上げる。上野連絡所は宿直を廃止する。総合センターは社会福祉協議会の事務局に町職員を派遣した上で管理を委託したい。

◆羽鳥 欣一議員

①役場庁舎建設の考えは

②国鉄小千谷第二発電所建設に伴う各地区要望の実現方対策は

③公共事業(治山関係)の積極推進を

◆南 雲 町長

①庁舎建設の時期ではないと考える。現段階では庁舎建設基金を設けるということも申し上げにくい。当面は財政力を蓄えることにまず目標を置き、将来に備えたい。

◆押木 二元 男議員

①総合開発計画の人口一万二千人目標に対する施策は

②町職員数の長期計画(適正規模、採用、職種)は

◆南 雲 町長

①人口目標二万二千人の設定は、公共施設の遊休化を防ぐためのものでもある。若年層の定着の

◆戸田 哲次議員

①母子センター施設の再検討と総合的な対策は

②診療所特別会計の財政悪化と今後の対応は

◆南 雲 町長

①母子健康センターは昭和四十四一年に開設以来、母子衛生の向上のために役立ってきた。助産部門は時代の流れで年々利用者が少なくなっている。こうしたことで見直しが必要である。また施設も損耗しているので、保健センターの新設も課題となる。②全国的にも自治体病院は財政悪化の傾向にある。厳しい情勢下におかれているが、経営の合理化、コストの低減を図るための企業努力が求められる。六十年年度を「診療所経営改善元年」としたい。

ため企業誘致に力を入れている。土地利用などの点から、なだらかな人口回復を図っていききたい。山野田地内の宅地造成の問題は、新橋の建設と歩調を合わせて向かいたい。観光は松葉荘周辺が中心となりつつある。スキー場やテニスコート、遊歩道などを徐々に整えていくことが若者の定着にも役立つと考える。

◆滋野 一郎議員

①県道小千谷十日町津南線の上野交差点から小千谷市までを除雪一種路線に格上げする運動を進める考えは

②「いちようの里」の実現を大きな構想のもとに推進してほしい

◆南 雲 町長

①格上げをする場合、県は建設省と協議しなければならない。小千谷、長岡方面への交通の増加は確実に見込まれる。小千谷市と協議して、十日町・小千谷両土木事務所への働きかけを行いたい。②町の中期的な特産物栽培として「いちよう」を取り上げてみた。今年には砂坂(上野)の町有地に十アール程度の試験ほを作り苗木を植えて、その結果を踏まえた上で取り組みたい。

②町職員数は臨調答申によって削減してきた。新採用を抑制してきたため二十歳代の職員が極めて少ない状況である。したがって毎年必要最小限度の職員を採用しておかないと将来の人事管理上問題が起こる。適正規模の職員数となるよう努力する。

◆戸田 専治議員

①治雪(雪対策)の取り組みは

②屋根雪処理方法開発に真剣に取り組め

◆南 雲 町長

①(1)川西町の立地条件から道路の除排雪に最も効果的なものは機械力である。除雪計画に適合した機械力の保有を促進したい。②屋根雪処理の方法を専門的に進めるということは単一の町では難しい。町としては、現在実用化をされている柳式などの情報を積極的に収集したい。克雪住宅建設融資制度の拡大も図っていききたい。②具体策はなかなか発見できないが、克雪の問題は前向きに取り組みたい。

◆小海貞二議員

①町道除雪委託業者の育成と技術指導の強化を

②住宅、車庫等の道路に面した建築についての指導を

◇南雲町長

①今冬は委託路線を延長し、業者を増加させた。これが早期いつせい除雪、あるいは集中豪雪に對して効果的だった。委託業者には技術を高めるよう要請を強める。

②基本的には道路の雪は行政が排除しなければならない。しかし、道路に落とした屋根雪までは責任を負えない。国県道に面したところは土木事務所、町道に面したところは町の指導となる。建築届の時点に指導するようになりたい。

◆小林正人議員

①林業振興地域整備計画の取り組みは

②淡海川の河川整備促進を

◇南雲町長

①町行分収造林に着手以來十年が経過した。六十年代から林道開設、治山事業等に優先対策や造林事業補助率引き上げなどの優遇をさらに受けたいとして、林業振興地域指定を受け、町全体の林業振興を図ることになった。人工林率三〇％達成を七十二年度目標とし、毎年二十八ヘクタールの新植を実施していく。

②底止め工事や護岸工事は、採択基準に合わず実現しない。現実の問題としては災害復旧で対処するのがいちばんの早道と感じている。

◆平野圭二議員

①企業誘致は町の運命を左右するものと考え、その展望は

②入札に伴う談合等の防止にどのような対応をしているか

◇南雲町長

①プレス金型の製造をする川西工業は、本年の消雪を待つて工

◆高橋弥太郎議員

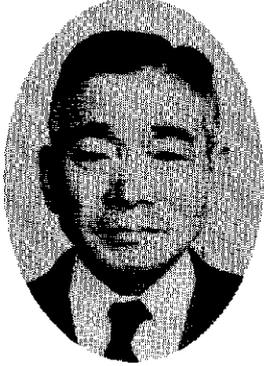
①ふれあいパック事業の取り組み方

②広域林道計画(川西―津南間)に取り組む考えは

◇南雲町長

①ふるさとパック事業はふるさと運動の一環である。都会の人によるさとの味といなかの香り、それに素朴の心を届けるものである。町・農協・商工会の三者で構成する「ふれあいパック委員会」が第三セクター方式で実施しようとしている。

②「仮称妻有広域基幹林道」として、中魚沼治山林道協会が、刈羽郡、東頸城郡の関係町村に呼びかけ、六十一年度から調査路線になるよう運動を進める話ができている。小千谷林業事務所の指導を仰ぐ段階に入った。川西分は東頸城と刈羽との郡境十二・五キロメートルに及ぶ。



登坂茂さん

全国町村議会

議長会の表彰を受賞

川西町議会議員の登坂茂さん(岩瀬)は、このたび全国町村議会議長会の議員十五年以上在職功労者表彰を受賞されました。この表彰は、町村の議会議員として多年にわたり在職し、町村自治の振興発展に寄与された人に贈られるものです。

登坂さんは、昭和四十四年に町議会議員に初当選し、現在四期目で活躍されています。

予算成立の時

一般会計と7つの特別会計の採決が3月27日に行われ、それぞれ原案どおり可決されました。

*総括質疑の掲載は、紙面の都合で質問順ではありません。



場建設に着手する。場所は川西高校の西側である。秋には創業したいとのこと。大東紡織についても早めに調印をしたい。次代を担う若者が地域に定着できる環境を急ぐことが最も重要である。このため若い人に魅力のある多様な職場を今後も積極的に誘致する必要がある。

②談合防止という観点からは一般競争入札が好ましい。しかし手続きなどの点から、ほとんどの自治体が指名競争入札の方式をとっている。信用のある者、誠実の者が町が指名していることをわかまえ、入札に参加するよう要望する。

— 人口動態調査にご協力を

保健福祉の向上に 役立たせます

厚生省では人口動態調査を毎年実施しています。この調査は皆さんからの出生、死亡、死産、離婚、離婚の各届書をもとに、人口の動きを調べるものですが、国勢調査の行われる年だけは、そこに職業名を記入していただくことになっていきます。また、死亡届には、併せて産業名も記入していただきます。

調査結果は今後の保健福祉の向上に役立たせるための統計資料として利用されます。今年は国勢調査の年に当たするため、記入についてごめんどろをかけると思いますが、ご協力くださるようお願いいたします。

調査方法、内容は次のとおりです。

【調査期間】

昭和六十年四月一日から六十年三月三十一日までの一年間

【調査対象者】

出生・死亡・死産・婚姻・離婚届を出される方々

【調査方法】

各届書を出すときに、それぞれ職業名を記入していただきます。職業名は具体的に記入してください。例えば「会社員」の方は「一般事務員、設計技師」というように、「工員」の方は「製鉄工、自動車整備士」というように書いていただきます。また、「公務員」の方も郵便外務員、会計事務員というように具体的にお願いします。

また死亡届には、農業、建設業、サービス業といった産業名も併せて記入していただきます。

役場住民係に「出生届、死亡届、死産届、婚姻届、離婚届」をされる方にお願いのリーフレットを備え付けてありますので、参考にしてご記入ください。



きん

保険料

納め終わっていつも安心

国民年金の加入者の皆さん
!! 昨年四月分から本年三月分までの保険料は納め終えましたか。

四月二十日までなら、納め忘れていた保険料は役場の窓口で納めることができます。

しかし、この日を過ぎると規則により、役場の窓口で納めることができなくなります。このため、直接社会保険事務所に出向いて納めるか、または納付書を作成してもらい、最寄りの金融機関で払い込んでもらうといったたいへん手間のかかることとなります。

未納期間が長くなると、一度に多額の保険料を納めることになり、ますます納めにくくなります。

また、国民年金には、不幸にしてご主人が亡くなったたり、不慮の事故に遭ったときのために、母子年金や障害年金などがあります。

これらの年金が受けられるかどうかは、母子状態となっ

ふくし

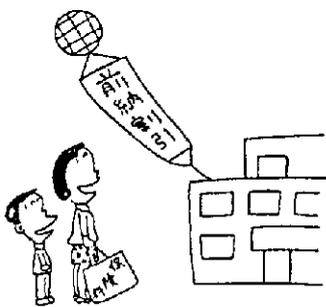
納め忘れのないよう 保険料の 前納制度はいかが

国民年金の保険料を、一年分一括して前納できる制度があるのをご存じですか。

この制度を利用すると、月納める手間が省け、つつかりの納め忘れも防げます。また保険料も普通なら一か月六千七百四十円、一年間では八万八千八百四十円になりますが、四月に一年前納した場合は七万八千九百三十円、千九百五十円が割引になります。

四月は、保険料を前納する場合の良い時期です。皆さんもこれを機会に「一年前納」に切り替えてみてはいかがでしょう。

- 一年前納した場合の保険料額は次のとおりです。
 - ・定額保険料七八、九三〇円
 - ・付加保険料 四、六八〇円
 - ・定額保険料十付加保険料 八三、六一〇円
- 詳しくは、役場の住民係へおたずねください。



保険料は前納できます

大東紡織(株)の工場を誘致

旧千手中体育館で七月操業の見込み

大東紡織株式会社(本社、東京都中央区日本橋堀留)の工場進出が本決まりとなり、今月八日に、協定書の調印、契約書の取り交わしを終えました。

大東紡織の誘致については、昨年春から取り組んできたもので、約一年をかけて決定にこぎ着けたことになりました。

進出する工場の位置は、大字協定書に調印し、町長と握手をする大東紡織の福田常務(左)



上新井八九一で、これまで町で普通財産として管理してきた旧千手中学校体育館を同社に賃貸し、大東紡織では、これを改装して操業するものです。工場名は大東紡織株式会社新潟工場と決まりました。

今回決まったこの工場は、同社鈴鹿工場の分工場として、羊毛ふとんを中心とする寝装品をもっぱら製造することになります。

八日当日は、大東紡織の本社から福田常務、深井紡織事業部長、鈴鹿工場から秋山工場長などが訪れ、町議会小林副議長(議長の代理)、馬場商工会長などの立ち会いのもとに、南雲町長と企業進出に関する協定書の調印、土地建物の賃貸借契約の締結に臨みました。

この日は、そのあとただちに、工場予定地で起工式が行われ、七月上旬の操業開始に向けてスタートを切りました。

なお、当初の採用予定者は十数人(うち、男子二、三人)で、職業安定所等を通じて募集することになります。

川西工業とは

土地、建物の 売買契約を結ぶ

新会社として川西町に誕生することになった株式会社川西工業も、会社創設に向けてスター

トしました。

今月一日には、親会社である株式会社キツダの橋田代表取締役社長と中村総務部長、それに関連会社の米沢放電工業株式会社石丸取締役が役場を訪れ、町長室で、町と土地、建物の売買契約を結びました。



契約書にサインする橋田社長(手前)

土地は、川西高校の西側にある町有地三千八百六十二平方メ

ートル、建物は、旧福祉センターです。川西工業は、各種電子部品のプレス用金型を製造する会社です。

雪消えを待って工場建設に着手し、秋には創業したいとのことです。

5月1日は 商業統計 調査の日

すべての商店が対象

通商産業省では、昭和六十年五月一日現在で商業統計調査を実施します。

この調査は、商業の国勢調査ともいわれるもので、わが国の商店の分布状況や販売活動の実態および商品の全国的な流通状況などを明らかにするため、全国の卸売業、小売業を営んでいるすべての商店を対象に行われます。

調査の結果は、国や都道府県、市区町村における商業の育成、流通機構の近代化などの施策を進めるうえで重要な基礎資料として多くの分野で利用されます。また、各商店が経営指針を作る際にも広く役立っています。

調査は、都道府県知事から任命された商業統計調査員が、商店を直接訪問し、調査票に記入していただいて回収するという方法で行います。

提出される調査票は、統計法により厳重に秘密が守られますので、正確な申告にご協力ください。

川西町の県会議員

明治維新以後、川西町が生んだ政治家（県会議員）に目を向けると、だれもが教育、文化、産業、土木など近代社会の基盤づくりにほん走り、郷土のため私財をなげうって「井戸堀」的に貢献してくれたことが分かる。

明治七年（一八七四）に地方民会（県議会の前身）が開かれたとき、県令楠本正隆の目になって初代の議員に選ばれたのは、第十二大区（旧中魚沼郡）の副大区長で計算掛の丸山順一郎（新町新田）であった。

十三年に公選で議員となった田戸の押木良平（仙田村戸長、村長歴任）は、以後も再選されて活躍し、また、この年執行された補欠選挙では下平新田の清水莊太（初代上野村長）が当選した。二十五年には中屋敷の半藤泰三（初代千手町村長）が議員となり、三十四年に当選した上野の星名佐藤治（大地主）は三期を県政界に君臨した。

九二七）に小白倉の田中信一（十代仙田村長）と室島の増田克治（十三代仙田村長）が、六年には水口沢の川崎沓三（越ヶ沢出身の名医）が議員となって活躍した。戦後は二十二年（一九四七）に、東善寺の北村基が農業関係団体の圧倒的な支持を受

けて当選している。

田中政治の県会評議 郡区編成法が施行（明治十二年）されると、郡会議員に連続当選し、中魚沼郡長も務めた小白倉の田中政治（信一の父、仙田村長在職中に死亡）が、自由派、国権派、改進黨に分かれて政争する揺籃期の新潟県会を評議したのは明治二十八年十二月のことであった。田中が全議員に突きつけた評議書（別記）は、当時の県政界を震駭させたばかりでなく、「魚沼の仙田に

町史の窓

田中あり」として県内の壯士を奮起させたという。

新潟県会ノ穢状醜態ヲ評議シテ議員ノ反省ヲ促カス

新潟県会ハ二三正義ノ士ヲ除クノ外盡ク腐敗ノ淵ニ沈ミタリ 情実ノ繩ニ縛サレタリ 政党私事ノ為ニ其眼眩ミタリ 宴饗贈遺ノ為ニ其心酔エタリ 而シテ人ノ知ル者ナシト思ヒ 然トシテ議場ニ立テリ 然レトモ越佐百八十八万人豈ニ盡ク盲聾ナランヤ 天知ル 地知ル 人知ル 我知ル 其ノ汚穢ノ状陋

道ニ注カント欲ス 其陋其醜実ニ見ルニ忍ヒサル者アリ

国権派議員カ十日町線ヲ賛成スル所以ノモノハ如何ノ中略

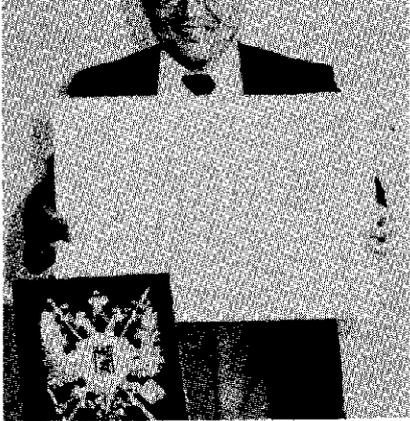
政党私事ノ為ニ宴饗贈遺ノ盛ナルカ為ニ 其偏僻ニシテ無用ノ道路ナルヲ知リツ、自ラ称シテ実地ヲ知レリト為シ中略 改進黨議員ノ該線ヲ賛成スル所似ノ者ハ何ソ 彼等ハ豪族組織ノ政党ナルヲ以テ中略 夜々鍋茶屋其他ニ宴席ヲ設ケ 議員ヲ招聘シ 運動者ヲ懇待シ 酒色ヲ以テ議員ノ心腸ヲ蕩ラカス事ヲ之レ努メ 以テ之レカ賛成ヲ買ヒタルニ外ナラス 而シテ彼レカ宴饗贈遺ノ費額ハ鍋茶屋ノミニシテ三百有餘円ノ巨額ニ達セルヲ知ル 斯ル方法ニ由ツテ賛成ヲ買ヒ 斯ル魔酔劑ノ為ニ賛成ヲ表シ、中略 以上ノ外 其ノ醜態筆ヲ汚カスニ忍ビサル者枚挙スルニ遑マラス 嗚呼 今日ノ県会ハ二三正義ノ士ヲ除クノ外之レヲ百鬼夜行ト云ハン乎 之レヲ糞桶爛肉ノ行列ト云ハン乎 將タ豺狼狗鼠ノ共進会ト謂ハン乎 殆ント之レヲ名状スルノ辞ヲ知ラサル也 而シテ醜態トシテ百八十万民ノ代議員ト呼フ 何ソ其面皮鉄ノ如キノ甚シキヤ 県下百八十万民衆ニ代ツテ聊カ県会ノ汚穢醜陋ヲ掃蕩シ 県民ノ不

幸ヲ救ハントス 否 血氣アル 県民トシテ誰カ起ツテ之ヲ攻メサルモノアランヤ

更ニ一步ヲ進メテ 各党各派ノ弊害ト 現議員中各個ノ内肚ヲ許カハ数万言ヲ費ヤスモ尚且ソ盡キス 故ニ左ノ標目ヲ掲ケテ各位ノ注意ヲ促ス 我儕ノ期スル所ハ 判ヲ公廷ニ争フノ時アラハ拳証明実ニ務ムルノミナラス 満腔ノ憤慨ヲ訴ヒ 其事実ヲ暴露スルニ對シテ白子ノ長キヲ厭ハス 県民ヲシテ遺憾ナキヲ期スヘシ

一、常置委員ノ職務ヲ濫用シテ 越佐会運動ノ始末 一、委員中土木請負者トノ結托 一、議員トシテ金銭物品ノ收賄 山ノ如シ 一、議員各賛成ノ交換条件付賛成ハ県下ノ利害ヲ顧ミサル事 一、議員ノ不節操破廉耻数件 一、議員ノ党争派略ハ県会ノ神聖ヲ侵ス

一、新潟三新聞ハ 各派ノ機関トシテ己レノ欲セサルノ寄書ヲ容レス 陰然議員ノ醜行ヲ隠蔽庇保スル事 以上ハ 各事実ヲ儘カメ証拠充分ナリ 乞フ正義ノ諸士ヨ 同僚ノ好ミヲ以テ其罪ヲ責メヨ 各議員ハ亦タ 自己ノ良心ニ照ラシテ各々反正セヨ



感謝状を手に幹事の松本さん

川西にいがたライオンズクラブに 県知事からの感謝状

環境美化協力団体として

先月十八日、新潟市で行われた真空き缶問題懇談会の席上、川西にいがたライオンズクラブは、五十九年度県環境美化協力団体として、県知事表彰を受賞

されました。
川西にいがたライオンズクラブは、昭和五十八年から国道252号線松葉沢パーキングを中心に、四月から十月の間、毎月一回の道路清掃を実施されています。この定期的な活動は、新たに道路清掃を実施しようとする団体の手本ともなっています。表彰の対象となった五十九年には、延七回・百七十人の方々が空き缶拾いを重点とした道路清掃を実施し、町をきれいにしてくださいました。



川西中の 巣立ちは百四十五人

川西中学校の第二十四回卒業証書授与式が先月十五日に行われました。

今年男子七十一人、女子七十四人の合わせて百四十五人が学窓を巣立ちました。



雪消えも間近（8日午前9時現在残雪119cm）となりました。

そろそろ残雪の中からぶなが芽吹くころです。

ぜんまいやうど、それにかえるやへびたちも地上に出られる日を今や遅しと待っていることでしょう。

4月は、町にもフレッシュな顔が行き来します。その代表者は小学校の新1年生といったところでしょうか。

車を運転の皆さんは、思いやりの心でハンドルを握ってください。

ぞうり、わらじに人気

上越新幹線

上野駅開業記念行事で

三月十四日に上越新幹線が上野駅乗り入れになりましたが、これを記念し多彩な行事が催されました。

川西町も上野不忍池周辺での「にいがた村観光物産フェア」に参加したり、越後湯沢駅で「ふるさと芸能」や「児童絵画展」を開いたりしました。

十四日から十七日にかけて行われた物産フェアでは、中仙田ニコニコ会の皆さんによる「ワラ工藝品の実演と即売」が好評で、特にぞうりとわらじに人気

上野で

町民雪上レク大会

三月十七日に上野小学校グラウンドで町民雪上レクリエーション大会が開かれました。



「ケツ圧レース」です

川西町の積雪状況

(単位：cm)

月日	60年	59年	58年	57年	56年
3・5	256	320	195	137	373
3・10	263	382	190	118	380
3・15	251	370	190	88	338
3・20	235	340	174	62	324
3・25	213	335	147	52	282
3・31	169	308	115	40	256



上野でも人気の「川西のアジ」

が集まり、上々の売れ行きでした。

関東方面の方に

「広報紙」を

お届けしています

役場では、昨年の六月に町内
全世帯を対象として、町外に転

出されたご家族や知人の方の住
所を調査させていただきました。
これをもとに、企画財政課で
は、町外転出者名簿を作成しま
した。約三千人の方々がこれに
載っています。

るさとの便りとして「広報かわ
にし」などを三、四か月に一回
くらいずつお届けしています。
いろいろとお札の手紙をちょ
うだいでいますので、一通ず
つですが、今月からこの欄で紹介
させていただきます。

はいけい ふるさと

ふるさと便りを懐しく

川口市 高橋隆 治さん



誰に求むる

• 他にのぞむ あくなき心 修
羅のごと 姿ことばは ちぢ
に乱るる

• 親しさの故の たかぶり と
もどもに 極狂極愚 懲りご
りもせず

• さればなお つのりゆく苦し
寝もやらず おのれを忘れ
他を責むるとは

• ひとみなに 心あるなり わ
れひとり 正しきことの あ
るべくもなし

• かれも人 われも人なり 善
し悪しを み仏ならぬ 身が
裁くとは

• み仏は 心が生みし 修羅の
苦と 思い知れよと 示し説
かるる

• 明らかに 見よと言う ひた
すらに 他を悪しとする 心
捨てよと

• 苦ありとす おのが心の転生
を おのれに問えと 宣える
なり

• 生々し この身に問わん こ
のひと日 このひとときの
われぞいかにと

• 苦の種子は 自心なりしと
知り知りて み名称えつつ
身じろぎもせず

• み光の ただ中なるに 真も
偽も 逆しまにみる ああわ
れよわれ

• お諭しを 賜わざる日は な
かりしに 身を聞かざれば
かくも苦しむ

• 駄馬と知り 駄馬なればこそ
鞭打ちて ひとすじの道 今
日も生きなん

• 数うれば 六十路にあまる
御慈悲の 日日ありがたし
南無阿弥陀仏

わしの 自慢

俳歴四十二年

俳句を

生涯の友として

霜条 星名昭次さん

星名昭次さんの句が、俳句
雑誌「桑弦(そうげん)」(正田稲洋先生主幹)二月号の
巻頭五句の栄誉に輝いた。

その五句は、
• 枯草に日々
好日といふことを
• 強霜に
月の細りし夜明けかな
• 照
り返す日のやはらかし懸大根
• 冬鴉一樹に群れて不吉めく
• 一斗箕の中に新米搗き上が
る である。

正田先生は、「照り返す」
に特選巻頭句評を付け、中七
の日のやはらかしの表現がよ
く、干しはじめてから日の浅
いやわらかい大根であること
を素直に納得できる、とされ
ている。

桑弦には、三百人からの投
句者がいるというから、快筆
である。

星名さんは俳歴四十二年、
俳句を星光といわれる。

「俳句を始めたのは、昭和
十八年ごろです。金山柏樹先
生から、戦争で人々の心はず
さんでいる時世ではあるが、
俳句を詠み世間を静かに見守
ることもたいせつですよ、と
勧められたのがきっかけです。
戦後は千手声ノ芽会に入り、
現在も会員になっています」

俳句の基本は写生句でなけ
ればならないとのこと。

「車に乗っていても、歩い
ていても、感動したものはす
ぐに句にします。見たまま、
感じたままにです。それから
リズムも必要ですね」

一日平均して二句は詠まれ
るとのこと。

「俳句で心の豊かさを深く
味わうことができます。これ
からも生涯の友としていきた
いです」——と星名さん。

「桑弦」と「声ノ芽」を手に星名さん



飯山線内ヶ巻トンネル 改良工事 5月～8月

期間中はバス代行

国鉄から

飯山線内ヶ巻一越後川口間の内ヶ巻トンネル改良工事のため、越後岩沢一越後川口間は工事期間中列車の運転ができませんので、バス代行輸送を実施します。

詳細は、大型時刻表 5月号に掲載します。

①工事期間

5月8日～8月9日

②工事による列車運休区間

越後岩沢一越後川口間

③バス代行

越後岩沢一越後川口間（道路10.9km、所要時間22分）

平日 7往復、日曜 6往復

行政相談

・ 4月24日……総合センター

4月から9月まで、毎月最終水曜日に総合センターで行政相談を行います。

相談時間は午後1時から3時まで、相談員は富井源蔵さんです。

停電の お知らせ

・ 4月11日（木）／午後1時から5時まで、小脇・高倉。

労働保険料の

申告・納付の時期です

60年度の労働保険料の申告と納付の受け付けが4月1日から始まりました。

期限は5月15日までですが、手続きが終わっていない事業主の方は、お早めに保険料申告書に保険料を添えて、最寄りの銀行か郵便局、または労働基準監督署に申告・納付をしてください。

（十日町労働基準監督署から）

差し上げます

青い鳥はがき

郵便局から

郵便局では、身体障害者福祉強調運動にちなみ、特別な意匠の40円郵便はがき（切手の部分が「青い鳥」）を4月20日から発売します。

このはがきは、郵便局で販売しますが、身体に重度の障害のある方から申し出があれば、お1人に20枚を差し上げます。障害の程度が1級か2級で満6歳以上の希望の方は、お近くの郵便局に身体障害者手帳を持参し、5月31日までに申し出てください。申し出は、代わりの方でも郵便によってでもけっこうです。

春の全国交通安全運動

新入学（園）児に

「交通安全」のための一声を！

▷期間 4月6日～4月15日

▷重点目標

- ①新入学（園）児を中心とした交通事故防止
- ②シートベルト・ヘルメット着用の徹底
- ③二輪車を中心とした無謀運転の追放



ガイド

情報

確定申告が

間違っていたときは

昭和59年分の所得税の確定申告は、3月15日で終了しました。

ところで、計算違いなどで誤った確定申告をしたり、確定申告書の提出を忘れていない人はいませんか。

確定申告後に、申告した税金が少なかったことに気づいたときは「修正申告」をしてください。

この修正申告は、税務署から更正を受けるまでは、いつでもできますが、税務署の調査により修正申告をしたり更正を受けたりすると、5%の過少申告加算税がかかります。

調査を受ける前に自主的に修正申告をしたときは、過少申告加算税はかかりません。

逆に、申告した税金が多かったことに気づいたときは、「更正の請求」をすることができます。

期間は、申告期限から1年以内となっていますので、昭和59年分の所得税の確定申告については、昭和61年3月15日までとなります。

また、確定申告を忘れていた人は、すぐに確定申告書を提出してください。これは「期限後申告」といって、税務署から決定を受けるまではいつでもできますが、早く申告するほうが有利です。加算税は10%ですが、税務署の調査を受ける前に申告しますと5%となります。

詳しくは、十日町税務署〔☎(52) 3181〕へ。

善意

次の善意が寄せられました。
●社会福祉協議会へ
*星野茂さん (小千谷市) から
二万円

民俗資料

- 登坂敬恒さん (赤谷) から、葉書 (明治期より)
- 今井菅夫さん (上野) から、火消し用鎌、火のし
- 保坂次夫さん (沖立) から、ツマカケ、馬のワラジ、ほか
- 武田忠平さん (高原田) から、燭台、手燭
- 太田光之さん (高原田) から、測量機

庁内人事

- *退職 / 三月三十一日付
▽高橋十四
 - *新採用 / 四月一日付
▽渡辺正範、▽小林幸枝
- ※職員配置については、「お知らせ版」四月一日号をご覧ください。

町内さんぽ

ランドセルに夢がいっぱい

4月4日 小学校の入学式を追う



午前10時集合。制服は各自が用意するが、お母さん方のみ、制服は決まっています。お母さん方は、お揃いの服装を準備してください。

四月四日の午前、町内の各小学校で入学式が行われました。この日は朝は晴れていたのですが、帰り際には無情の雨が着飾ったお母さん方に降りかかりました。

今年町内の小学校に入学した子供たちは、男子五十六人、女子五十三人、合わせて百九人となっています。

ここ数年百四十人から百五十人くらいの新入生を迎えていたのですが、今年は極端に少なく寂しい思いがしました。

中でも、上野小学校は去年の二十八人が今年は十五人、仙田小学校では去年(二十一人)の半分以下の八人でした。

仙田小学校で新一年生のお母さん方に「どうして少ないんですか」とおたずねしたところ、「ほかの人たちががんばら

なかったのでは」との言葉が返ってきました。

町の将来のためにも、それだけがもう一人ずつがんばるようお願いしたいのですが……。

入学式が重なったため、とてもみんなは回れませんでした。そこで、仙田小学校の新一年生の姿を中心に写真を撮ってきまして紹介します。



仙田小には八人の新一年生が誕生しました。

入学式では、校長先生が一人一人に声をかけてくださいました。

「明日から一人でこれるかな」(白倉小の新一年生は二人です)



教室で教科書に見入る仙田小の一年生たち。

去年完成したばかりの橘小は、二十四人の新入生を迎えました。帰りには傘の花が咲きました。



くらしのなか

ガンから 命を守るために

昭和五十八年の川西町での死亡数は八十四人、そのうちガンによる死亡は二十三人で、死因の一位となっています。脳卒中による死亡が横ばい、あるいは減少の傾向にあるのに対して、ガンは増加の傾向にあります。

私たちの体の細胞にはガンにかかりやすい条件があり、そこに「ガン」を仕掛ける物質「

が乗り込んでそのきっかけをつくり、さらに「ガン」を促進する物質「
」が加わってガンは発生します。

ガン細胞は、早いもの、遅いものと成長速度に違いはありますが、ほうっておくととどまることなく大きくなります。さらにガン細胞は、血管やリンパ管の中に入り、血液やリンパ液といっしょに遠く離れた臓器にまで広がり、同じようなこぶをつくり出します。これを「



転移」といいます。

これらのこぶが臓器を破壊し、その人を弱らせ、ついには死に至らせます。

ガン年齢ということばがありますが、これはその年代の人から特に患者も死亡数も増えているために使われています。子宮ガンは三十歳代から、乳ガンは三十五歳くらいから、胃ガンは四十歳代から、肺ガンは五十歳代からです。この年代に達したら進んで検診を受けてください。

ガンは早期に発見すれば治りが早いのですが、早期ガンの時期には困ったことに、自覚症状がほとんどありません。健康だと思っても毎年必ず検診を受けましょう。

あなたの健康はあなたしか守れません。

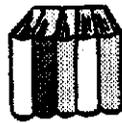
戸籍の窓から

昇天—ごめい福を祈る

- 仲嶋 ムラ 上野 六九
- 高木チヨノ 上野 七四
- 瀧井 正治 野口 七三
- 長谷川ツタ 赤谷 八五

うぶ声—おすこやかに

- 田口 玲那 勉 長女 木落
- 上村 泰典 清 長男 上野
- 田中 優貴 千春 長男 永久公社
- 山崎 徹 正 長男 寺ヶ崎



かわにし 俳壇

太田白南風選

赤谷 登坂 酔月
職退きて歎とる我に山笑う
この里のブナの芽吹きに山笑う
手花火のようにかご花咲きにけり
卒業の証書の重みありにけり
しづもれる中咳一つ大試験

三領 水品 律
仏前へ卒業証書父なき子
同子撒く涅槃日和を賜りし

- 中村 知弘 公一 長男 坪山
- 高橋 望 佐久平 二女 中屋敷
- 田口 幸治 一美 二男 木落
- 佐藤 泰之 喜一 三男 野口

たかさこ—ご円満に

- 新太郎 星名 弘行 新町新田
- 新婦 大塚真紀子 高原田から
- 新太郎 喜多 春二 東善寺
- 新婦 藤井真奈美 羽茂町から
- 新太郎 蔵品 正紀 霜条
- 新婦 阿部由美子 福島県から
- 新太郎 数藤 義之 沖立
- 新婦 樋口 靖子 中仙田から
- 新太郎 平野 芳之 上町
- 新婦 都築 澄江 千葉県から

念仏の善男善女涅槃の日

五つ六つ露の薫など摘んで来し
摘んで来し掌に香の残り露の薫

霜条 星名 星光

サンシャイン六十階も遠霞
歎浸す農のこれより春の川
雪解けてゆく日々の起伏出来
春日和絢の嫁を見せに来し
靖国の鳥居仰ぐや若緑

三領 高橋たかし

御水取り春の足音一歩づ、
沈丁の匂うつぼみの困い解く
苗床を堀上ぐ雪に春の泥
初燕雪解の川にひるがえり

3月の交通事故発生件数

件数	2	(3)	4	(3)
死者	3	(3)	5	(3)
重傷	0	(0)	0	(0)
軽傷	0	(0)	0	(0)
酒酔	0	(0)	0	(0)
酒気	2	(0)	3	(0)

()内は前年比較

心配ごと相談

- 4月17日……克雪センター
 - 4月24日……総合センター
 - 5月1日……上野連絡所
 - 5月8日……橘出張所
- ※時間は午後一時から三時まで。

岩瀬 小川 益栄

卒業のいと華やける和裁塾
この風の春一番というとかや
雪の下そのまた下の雪解水
雪壁のまだ厚き道続くなり

赤谷 小川 秀

乗り捨ての橋にかご花しおれをり
タンポポの咲くこの道を好み行く
春の風邪引きづりつ、の手内職

中仙田 左木 人

春立ちて青き葉の立ち吊し葱
何か打つ雪解傘のリズムかな
花散るや白衣の人と廊に佇ち